株式会社 西京銀行

2025年３月期 決算報告

前中期経営計画の総括と2025年3月期 業績ハイライト（単体）

前中期経営計画の総括

- 預金残高、貸出金残高、当期純利益の**業績目標をすべて達成**

2025年3月期 業績ハイライト（単体）

- 預金残高対前期比**1,262億円増加**　貸出金残高対前期比**756億円増加**
- 預金残高、貸出金残高ともに **過去最高残高を更新**
- 当期純利益は対前期比 **２億円増加**　**5期連続過去最高益を更新**

前中期経営計画の総括

- 前中計では、中計目標に『2兆円銀行を目指す！』を掲げ、下表のとおり業績目標を設定。
- 預貸金残高は、2024年3月期に1年前倒しで達成。その後も順調に伸長し、過去最高残高を更新中。（山口県内預金シェア２０％を実現）
- 当期純利益は、預貸金ボリュームの増加による増収効果に加え、県内全店舗をカウンターレスのコンサル店舗へのリニューアルなどによる業務効率化、ＩＴ・ＤＸの推進により、中計最終年度60億円を達成。

業績目標の達成状況（中計期間：2022年4月～2025年3月）

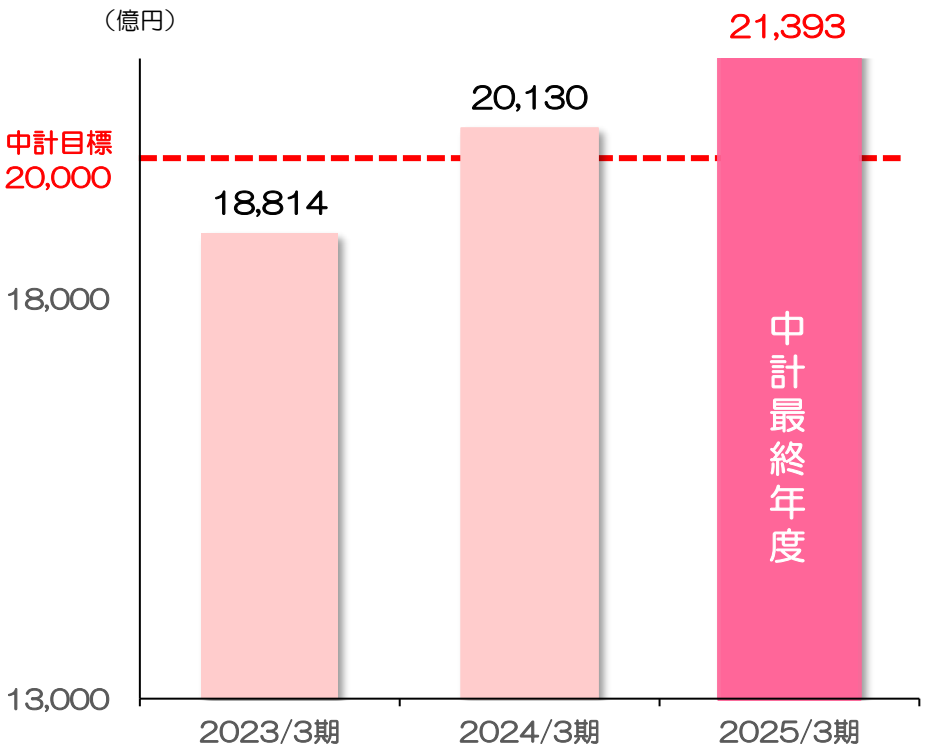
全項目達成

項目	目標値	中計最終年度実績（2025年3月期）
①預金残高	2兆円以上（地元中心）	2.1兆円
②貸出金残高	1.6兆円以上（地元中心）	1.7兆円
③当期純利益	60億円以上	60.3億円

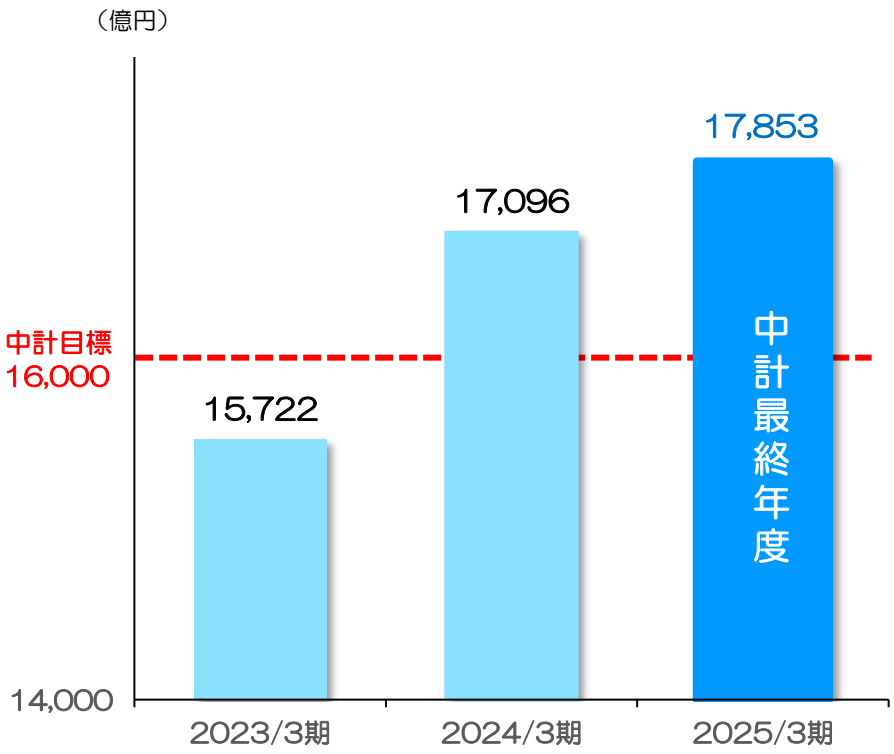
預金・貸出金残高推移 ～ 預金量2兆円突破後もさらに伸長！

- 預金残高は、主力商品「年金定期預金」「ACT SAIKYO応援定期預金」に加え、「新規口座開設キャンペーン」の効果により、前年同期比1,262億円増加。過去最高残高を更新。
- 貸出金残高は、引き続き、地元事業者さま向けの貸出や、個人のお客さまからの住宅取得ニーズに積極的に対応した結果、前年同期比756億円増加。過去最高残高を更新。

預金残高推移



貸出金残高推移

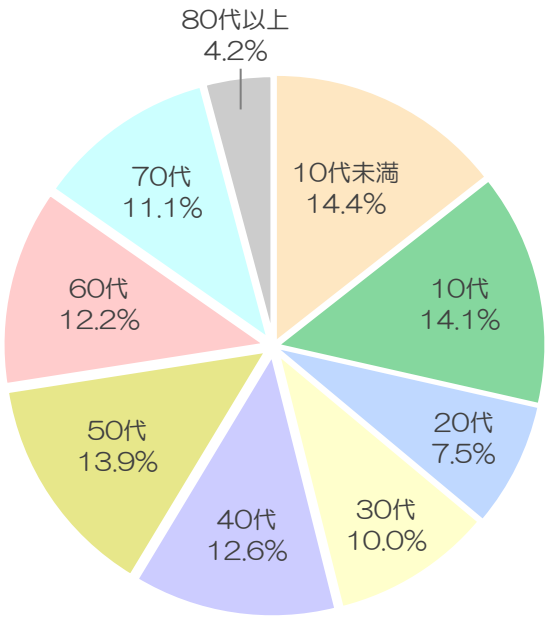


（参考）新規口座開設キャンペーンの分析結果（2025年3月31日時点）

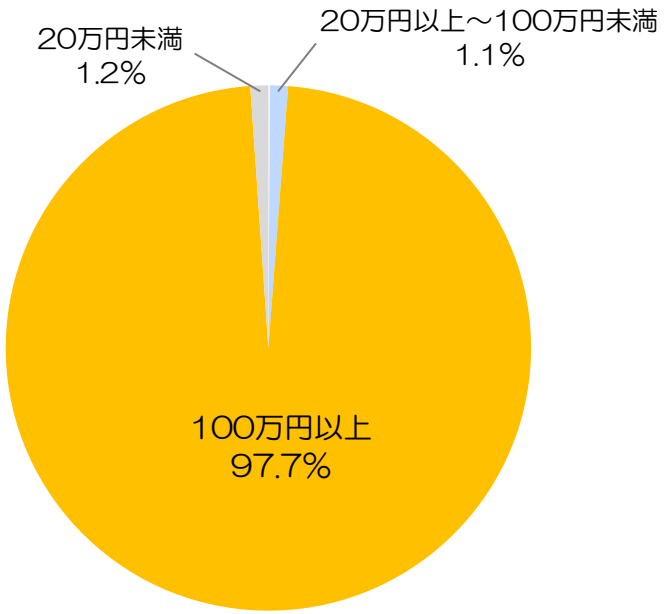
- 今後取引が期待できる若年層や、これまで接点のなかった現役世代を中心に多くのお客さまが口座を開設。
- 個人預金の増加に加え、粘着性の高い定期預金の獲得に繋がった。

キャンペーンによる開設口座数	約102,000口座	10代・20代の若年層や40代・50代の現役世代など、幅広い年齢層が口座開設
キャンペーン預入金額（増加した預金）	約1,300億円	口座開設いただいた方の約98%が、100万円以上をご入金
（うち 定期預金）	約530億円	年金定期預金・ACT SAIKYO応援定期預金により、定期預金でのお預け入れ金額は全体の40%を占めた

口座開設の年齢構成



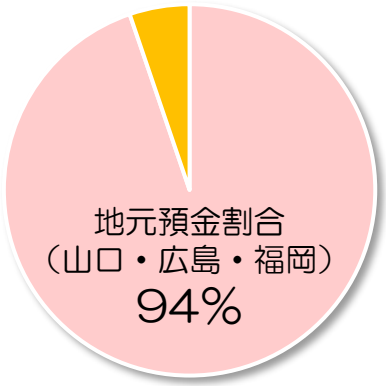
キャンペーン預入金額割合

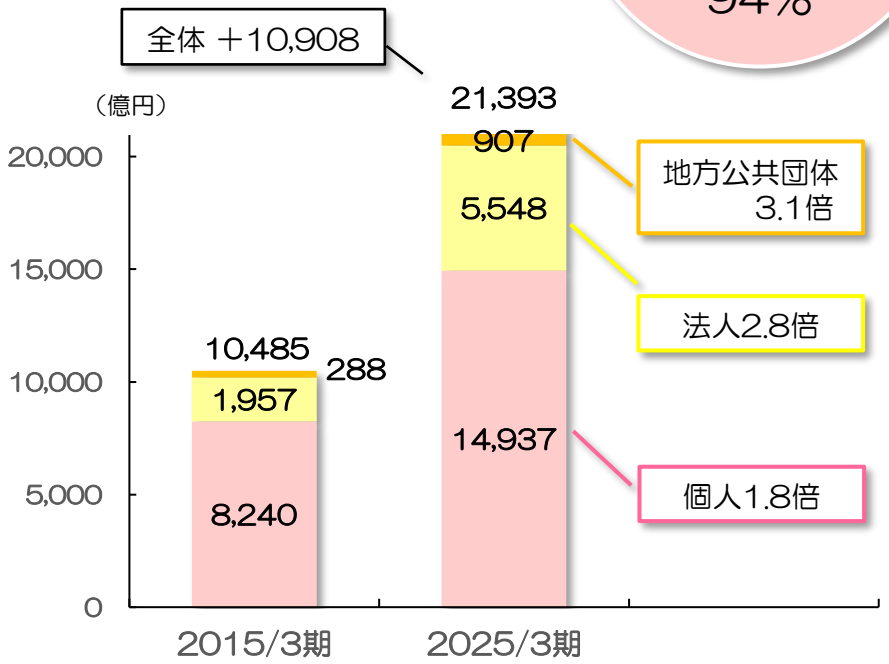


（参考）地域に根差した活動 ～ 資金の地域内循環

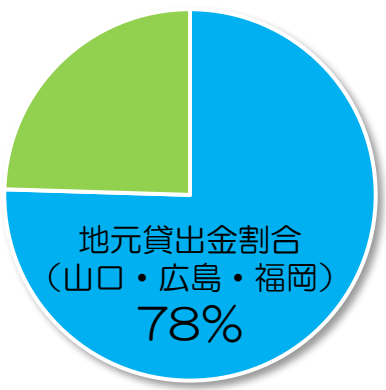
- 地元（山口・広島・福岡）のお客さまからお預かりしたご預金を、資金を必要とされる地元事業者さまや個人のお客さまにお使いいただく『資金の地域内循環』を推進。
- この１０年、預金・貸出金ともに、個人・法人のお客さま、地方公共団体さま等、地元のあらゆるお客さまからのご支持により、それぞれ残高は倍増以上。トータル残高はともにおよそ1兆円増加。

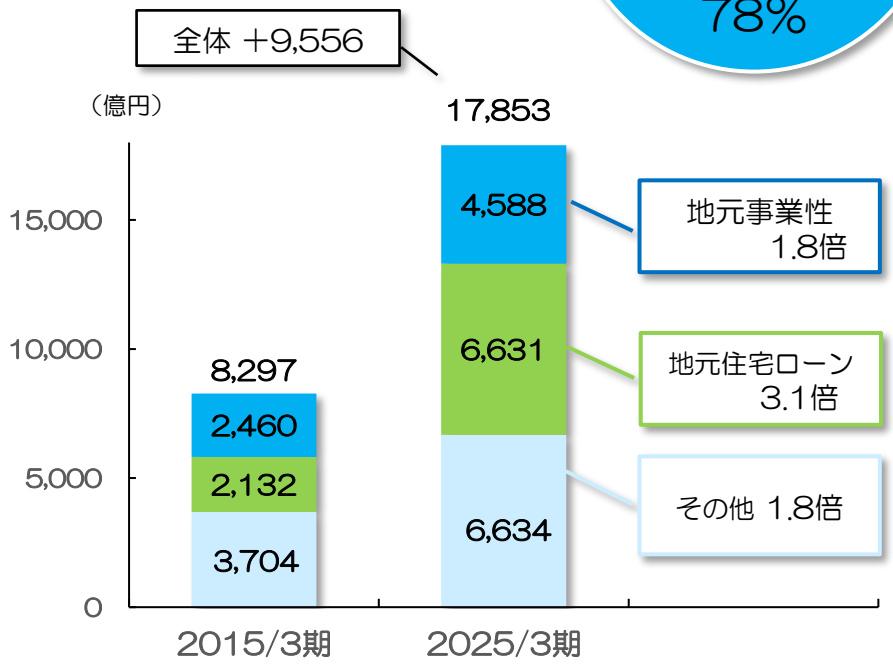
預金増加額の内訳





貸出金増加額の内訳





経常収益・経常利益・当期純利益

- 引き続き地元向けの積極的な貸出推進や、インカム重視の有価証券運用等により、４期連続の増収。
- 経常利益は、新規口座開設キャンペーン費用などにより対前年比減益となったものの、当期純利益は、不良債権額の縮減による信用コストの減少等により、中計の最終目標額６０億円を達成し、５期連続で過去最高を更新。

(単位:百万円)

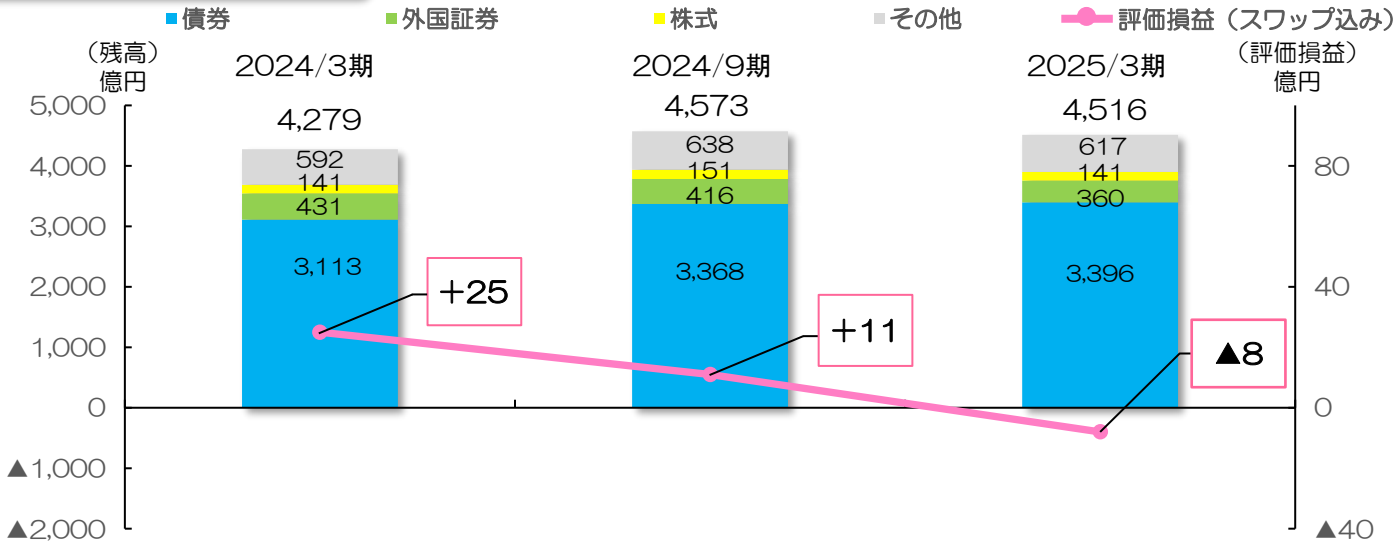
	2023/3期	2024/3期	2025/3期	前年比
経常収益	31,060	34,310	38,663	4,352
経常利益	7,999	8,865	7,845	▲1,020
当期純利益	5,467	5,780	過去最高益 6,039	259

増収増益（4期連続）

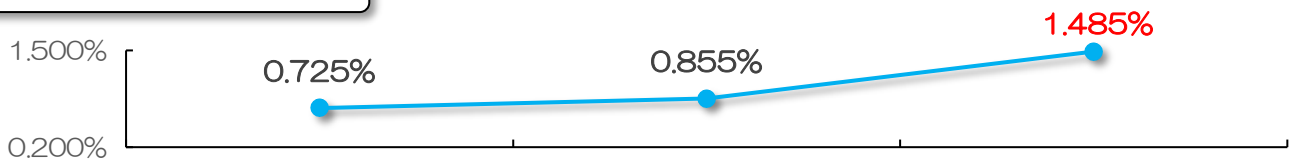
有価証券運用の状況

- 2024年9月期は、外国債券59億円売却（売却損▲4.2億円）等果敢な対応の結果、評価損益はプラス11億円で着地。期中、国内金利の急上昇により債券を中心に評価損を計上したものの、金利スワップ等によるリスクヘッジにより、評価損益は▲8億円と限定的。
- 今後も金利変動リスクに備え、修正デュレーションの短期化に努める。

有価証券残高および評価損益



日本長期金利（10年国債）

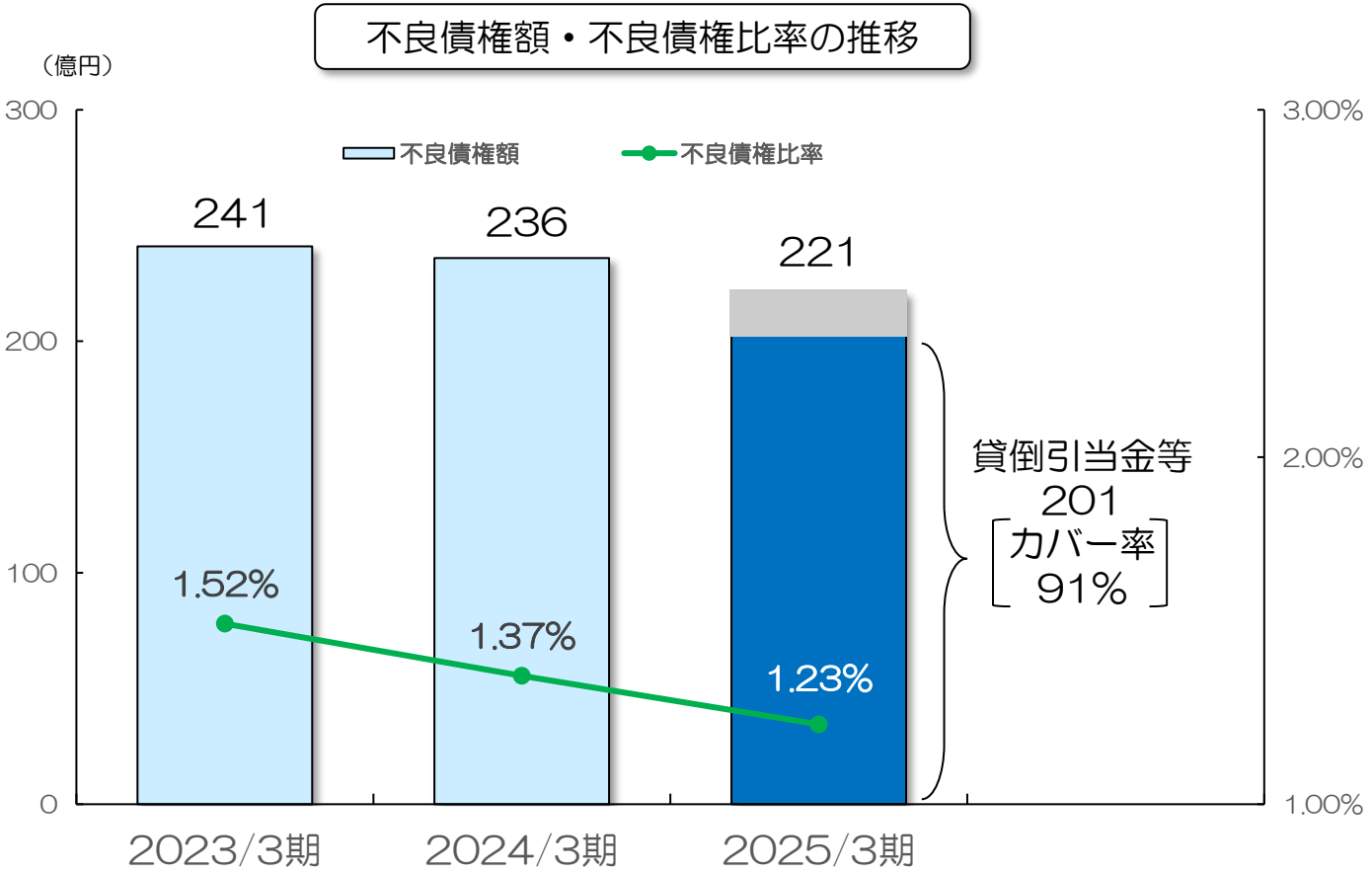


修正デュレーション*（国内債券）

＊修正デュレーションとは、デュレーション（債券に投資した資金の平均回収期間）を債券の利回りで除した期間を表し、金利が変動した場合に債券価格がどの程度変化するかを示すリスク管理上の指標のこと。

不良債権の状況（金融再生法開示債権）

- 県内の景気は、全体的に緩やかな回復傾向にあるものの、米国の通商政策や国際金融市場の動向については、引き続き注視することが必要な情勢。
- こうした環境下、当行では、コロナ融資利用先を中心とした伴走型金融支援や小口分散を意識した融資運営により、不良債権比率は引き続き低水準を維持。
- 地域金融機関として、米国の通商政策の影響を受けるお客さまに向けた相談窓口を設置し、資金繰り等の支援を通じて、今後も積極的なサポートを継続していく。



地域課題の解決に向けた取り組み

預金口座のサービス化 ～ 地域No.１の口座サービス

- 2025年６月より、幅広い年齢層にご利用いただくために、年金受取等の預入条件を廃止し、キャンペーン定期預金を一本化した新商品「さいきょうの定期」を発売予定。
- コンビニATM等のATM利用手数料は、衝撃の０円！
- さらに、インターネットバンキング、給与振込、年金受取、住宅ローン等のお取引があれば ＡＴＭ時間外手数料も０円に！

キャンペーン定期の一本化

2025年6月発売予定！
「さいきょうの定期」

- ✓ 年金受取等の預入条件なし！
- ✓ 預入金額上限なし！
- ✓ 満期時の手続き不要！

お得な優遇特典の提供

（インターネットバンキング）
通帳アプリ
※直近6ヶ月以内にログイン実績がある方

年金受取
※年金予約は対象外

給与振込
当行所定の給与振込形式でお勤め先から振り込まれた給与が対象

住宅ローン

定期預金
100万円以上
※積立定期預金・外貨定期預金を含む

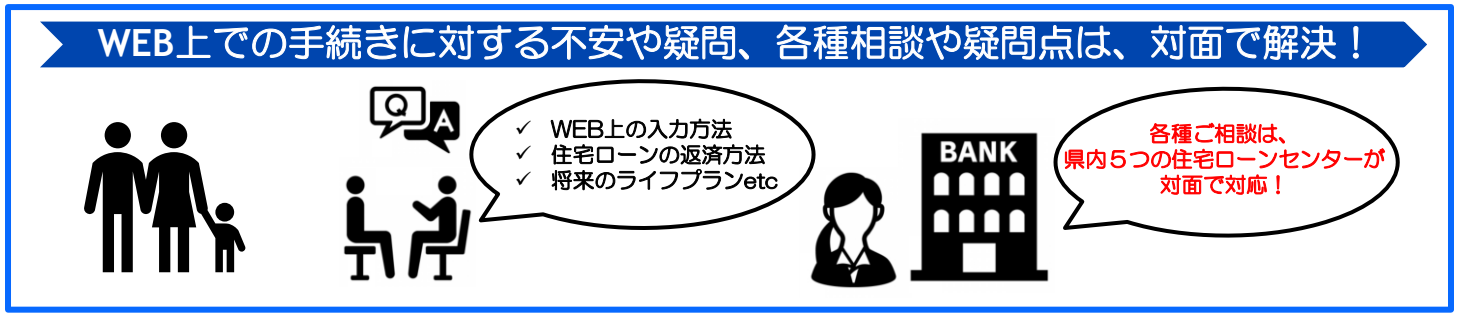
カードローン
※お借入れのある方

上記のお取引がひとつでもあれば
西京銀行ATMやコンビニ等提携
ATMの時間外利用手数料が
いつでも
何度でも
無料

地域の利便性向上 ～ お客さまに寄り添った住宅ローン手続きの実現

- 住宅ローンの申込から契約までの一連の手続きをすべてWEB上で完結する仕組みを導入し、来店不要で、24時間、365日、いつでもどこでも手続きが可能に。
- また、県内5つの住宅ローンセンター（下関、宇部、山口、周南、岩国）のネットワークを活用し、WEB上での手続きに対する不安や疑問、各種ご相談にも、対面できめ細かな対応ができる体制を構築。オンラインと対面を組み合わせた、ハイブリッド型の仕組みを実現。

オンラインと対面を組み合わせた、ハイブリッド型の対応



地域の課題解決 ～人的資本経営の支援「賃上げコンサル」等

- 脱デフレ時代を迎え、都市部の大企業との人材獲得競争が激化する中で、地元事業者さまの人的資本経営の重要性は一段と高まっている。
- こうした背景のもと、当行では、人的資本経営の推進において重要となる「賃上げ」や「従業員サーベイ」をはじめとする、人事領域に関する幅広いコンサルティングサービスの提供を開始。

コンサルメニューの一覧

各コンサルメニューの概要

賃上げに向けた施策の提案

- 地域や他社などの好事例に基づく施策の提案
- 賃上げ税制などの税制優遇の活用

給与規程の作成・見直し

- 給与テーブルの作成・見直しなど社内制度の整備

従業員サーベイ

- 従業員の意識や満足度を把握するためのアンケート調査

社員向け研修

- 新入社員から管理職層まで幅広い分野の研修を実施（例：ビジネスマナー、コンプライアンスetc）

地域の課題解決 ～ 女性活躍の推進

- 近年、企業における女性の社会進出や活躍をサポートする取り組みの重要性が増す中、当行は地域のロールモデルとなるべく、女性活躍推進法に基づく最上位認定「プラチナえるぼし」の取得を推進中。
- その第一歩として、2025年4月に「3つ星えるぼし」を取得。
- 今後も「女性が働きがいのある銀行日本一」を掲げ、一般事業主行動計画に基づく各種施策を実践し、女性活躍を推進する。

「3つ星えるぼし」の取得

「3つ星えるぼし」認定要件の例

達成

要件	認定基準	当行
正社員に占める女性労働者割合	45.6%以上※	45.8%
女性の平均勤続年数	12.4年※	13.4年
時間外労働、休日労働の毎月平均時間	45時間未満	12時間
管理職に占める女性割合	14.3%※	15.2%
キャリアアップ実績	2項目以上	2項目

※厚労省から毎年算出される産業平均値を基準とする

地域活性化への貢献 ～ 初のオリンピアン誕生に期待！

ACT SAIKYO BADMINTON TEAM

- 2025年4月、期待の新人2名が正式入団し、チームはさらにレベルアップ！
- 地元柳井商工高校から、シングルス日本代表として活躍している宮崎 友花選手が入団。
- 初のオリンピアン誕生が期待されるACT SAIKYOから、今後も目が離せない！

期待の新人２名が正式入団！

青木 もえ選手

- 茨城県出身
- 筑波大学出身
- 全日本学生大会第3位

宮崎 友花選手

- 大阪府出身
- 柳井商工高校出身
- 女子シングルス日本代表

全日本総合バドミントン選手権大会優勝！

＊ 2024年12月、宮崎 友花選手が、国内最高峰の「全日本総合バドミントン選手権大会」で優勝！

＊ 高校生チャンピオンは10年ぶり5人目の快挙！